



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月10日

上場会社名 株式会社琉球銀行 上場取引所 東・福
コード番号 8399 URL <https://www.ryugin.co.jp/>
代表者(役職名) 取締役頭取 (氏名) 島袋 健
問合せ先責任者(役職名) 総合企画部長 (氏名) 比嘉 伸一郎 TEL 098-866-1212
特定取引勘定設置の有無 無
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	60,004	16.3	11,544	58.0	8,134	60.4
2025年3月期第3四半期	51,593	4.0	7,307	10.9	5,072	10.5

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 8,553百万円 674.7% 2025年3月期第3四半期 1,104百万円(△78.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	198.33	198.21
2025年3月期第3四半期	122.59	122.50

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	3,107,181	146,101	4.7
2025年3月期	2,977,518	139,831	4.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 146,067百万円 2025年3月期 139,795百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末新株予約権)を期末資産の部の合計で除して算出しております。
なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
2026年3月期	—	27.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	38.1	8,000	39.1	195.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	43,108,470株	2025年3月期	43,108,470株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	2,101,554株	2025年3月期	1,755,013株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	41,016,331株	2025年3月期3Q	41,374,588株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状況の概況	P. 2
(1) 経営成績の概況	P. 2
(2) 財政状態の概況	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 4
四半期連結損益計算書	P. 4
四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 6
(5) セグメント情報等の注記	P. 7
(6) キャッシュ・フロー計算書に関する注記	P. 7
2026年3月期 第3四半期 決算概況説明資料	P. 8
1. 損益の概況【連結】	P. 8
(1) 概況	P. 8
(2) 参考 連結子会社の損益の状況	P. 9
2. 損益の概況【単体】	P. 10
(1) 概況	P. 10
(2) 損益分解情報	P. 11
3. 預金・貸出金等の状況	P. 12
(1) 預金（単体・末残および利回り）の推移	P. 12
(2) 預かり資産（単体・末残）の推移	P. 13
(3) 貸出金（単体・末残および利回り）の推移	P. 14
(4) 時価のある有価証券の評価差額（連結）の推移	P. 15
(5) 金融再生法開示債権の推移	P. 16
(6) 自己資本比率（連結・単体）の推移	P. 17
(7) キャッシュレス事業利益の推移	P. 18
(8) キャッシュレス事業（りゅうぎんVisaデビットカード発行業務・カード加盟店事業） 契約数及び加盟店契約数の推移	P. 18
(9) コンサルティング業務利益（単体）の推移	P. 19
(10) リース業務利益（連結）の推移	P. 19

1. 経営成績・財政状況の概況

（1）経営成績の概況

経常収益は、貸出金利回りの上昇により貸出金利息が増加したことおよび有価証券利息配当金の増加等により前年同期比84億11百万円増加の600億4百万円となりました。

一方、経常費用は、預金金利引上げによる預金利息の増加および人件費増加による営業経費の増加等により前年同期比41億75百万円増加の484億60百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比42億37百万円増加の115億44百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比30億62百万円増加の81億34百万円となりました。

（2）財政状態の概況

財政状態について、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比1,296億63百万円増加の3兆1,071億81百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末比62億70百万円増加の1,461億1百万円となりました。

主要勘定としては、預金等（譲渡性預金を含む）は、個人預金等を中心に増加したことから、前連結会計年度末比1,169億42百万円増加の2兆8,996億60百万円となりました。貸出金は、前連結会計年度末比753億27百万円増加の2兆554億44百万円となりました。有価証券は前連結会計年度末比397億73百万円増加の7,273億39百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想に対し、当第3四半期累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益の実績は進捗率101%となっておりますが、第4四半期においては、新本店ビル完成に伴い、一時的な費用の計上を見込んでおります。また、先行きの金融環境については依然として不透明な状況が続いていることなどから、通期の連結業績予想について変更はしておりません。

今後、状況の変化等により業績予想の修正が必要となった場合は速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
現金預け金	171,575	153,726
コールローン及び買入手形	216	12,217
金銭の信託	518	525
有価証券	687,566	727,339
貸出金	1,980,117	2,055,444
外国為替	3,036	6,667
リース債権及びリース投資資産	28,918	37,458
その他資産	48,944	56,920
有形固定資産	44,424	44,018
無形固定資産	4,454	4,424
退職給付に係る資産	1,855	1,762
繰延税金資産	7,533	7,190
支払承諾見返	7,231	7,990
貸倒引当金	△8,873	△8,506
資産の部合計	2,977,518	3,107,181
負債の部		
預金	2,770,119	2,872,868
譲渡性預金	12,598	26,792
借入金	19,535	16,974
外国為替	47	67
その他負債	24,184	33,028
賞与引当金	872	241
役員賞与引当金	9	—
退職給付に係る負債	603	623
役員退職慰労引当金	33	36
偶発損失引当金	108	133
ポイント引当金	179	170
利息返還損失引当金	163	152
再評価に係る繰延税金負債	1,999	1,999
支払承諾	7,231	7,990
負債の部合計	2,837,687	2,961,079
純資産の部		
資本金	56,967	56,967
資本剰余金	14,260	14,269
利益剰余金	76,991	83,231
自己株式	△1,840	△2,237
株主資本合計	146,379	152,230
その他有価証券評価差額金	△7,605	△7,159
土地再評価差額金	737	740
退職給付に係る調整累計額	283	256
その他の包括利益累計額合計	△6,583	△6,163
新株予約権	35	34
純資産の部合計	139,831	146,101
負債及び純資産の部合計	2,977,518	3,107,181

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
経常収益	51,593	60,004
資金運用収益	23,239	29,680
(うち貸出金利息)	20,473	25,149
(うち有価証券利息配当金)	2,480	3,939
役務取引等収益	9,632	10,526
その他業務収益	16,524	17,705
その他経常収益	2,196	2,092
経常費用	44,285	48,460
資金調達費用	1,272	3,963
(うち預金利息)	996	3,776
役務取引等費用	4,706	5,026
その他業務費用	16,065	16,676
営業経費	21,419	22,338
その他経常費用	821	454
経常利益	7,307	11,544
特別利益	—	1
固定資産処分益	—	1
特別損失	27	24
固定資産処分損	27	8
減損損失	—	15
税金等調整前四半期純利益	7,279	11,521
法人税、住民税及び事業税	1,975	3,202
法人税等調整額	231	184
法人税等合計	2,207	3,386
四半期純利益	5,072	8,134
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,072	8,134

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	5,072	8,134
その他の包括利益	△3,968	418
その他有価証券評価差額金	△3,965	445
退職給付に係る調整額	△2	△26
四半期包括利益	1,104	8,553
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,104	8,553

（3）継続企業の前提に関する注記

該当ありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当ありません。

(5) セグメント情報等の注記

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	クレジット カード業	信用保証 業	IT事業	計				
経常収益										
外部顧客に対する経常収益	33,025	13,627	2,322	354	2,261	51,591	1	51,593	—	51,593
セグメント間の内部経常収益	832	109	560	131	334	1,967	127	2,095	△2,095	—
計	33,858	13,736	2,882	485	2,595	53,558	129	53,688	△2,095	51,593
セグメント利益	6,462	389	449	367	116	7,785	12	7,797	△489	7,307

(注) 1 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていないセグメントであり、現金精査整理業務や産業、経済、金融に関する調査研究業務等であります。

3 「調整額」は主にセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	クレジット カード業	信用保証 業	IT事業	計				
経常収益										
外部顧客に対する経常収益	40,803	14,323	2,272	255	2,345	60,001	3	60,004	—	60,004
セグメント間の内部経常収益	1,019	115	675	207	260	2,277	93	2,371	△2,371	—
計	41,823	14,439	2,948	462	2,605	62,279	97	62,376	△2,371	60,004
セグメント利益	10,647	648	625	310	△29	12,202	2	12,205	△660	11,544

(注) 1 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていないセグメントであり、現金精査整理業務や産業、経済、金融に関する調査研究業務等であります。

3 「調整額」は主にセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) キャッシュ・フロー計算書に関する注記

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	2,412百万円	2,527百万円
のれんの償却額	23百万円	23百万円

2026年3月期 第3四半期 決算概況説明資料

1. 損益の概況【連結】

(1) 概況

経常利益は、人件費等の経費の増加があったものの、貸出金利回りの上昇による預貸金収支の増加や有価証券利息配当金の増加等による資金利益の増加により、前年同期を42億37百万円上回る115億44百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期を30億62百万円上回る81億34百万円となりました。

(単位：百万円)

連結		2025年3月期 第3四半期 9ヵ月累計	2026年3月期 第3四半期 9ヵ月累計	前年同期比
0	経常収益	51,593	60,004	8,411
1	連結粗利益 ※	27,351	32,244	4,893
2	資金利益	21,967	25,716	3,749
3	役務取引等利益	4,925	5,499	574
4	その他業務利益	459	1,028	569
5	経費(除く臨時損益)	21,423	22,377	954
6	貸倒償却引当費用	661	208	△453
7	貸出金償却	125	5	△120
8	個別貸倒引当金繰入額	727	—	△727
9	一般貸倒引当金繰入額	△272	—	272
10	偶発損失引当金繰入額	80	133	53
11	債権売却損	0	—	△0
12	その他の与信費用	—	68	68
13	貸倒引当金戻入益	—	365	365
14	償却債権取立益	176	154	△22
15	株式等損益	1,648	935	△713
16	その他の臨時損益	215	430	215
17	経常利益	7,307	11,544	4,237
18	特別損益	△27	△23	4
19	税金等調整前四半期純利益	7,279	11,521	4,242
20	法人税、住民税及び事業税	1,975	3,202	1,227
21	法人税等調整額	231	184	△47
22	法人税等合計	2,207	3,386	1,179
23	四半期純利益	5,072	8,134	3,062
24	非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—	—
25	親会社株主に帰属する四半期純利益	5,072	8,134	3,062

※ 連結粗利益＝(資金運用収益－資金調達費用)＋(役務取引等収益－役務取引等費用)＋(その他業務収益－その他業務費用)

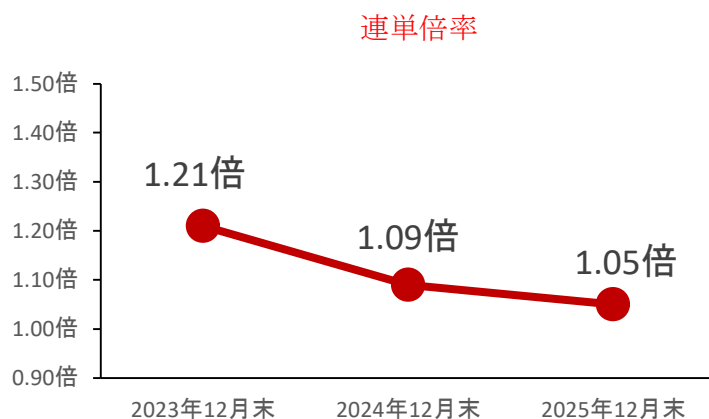
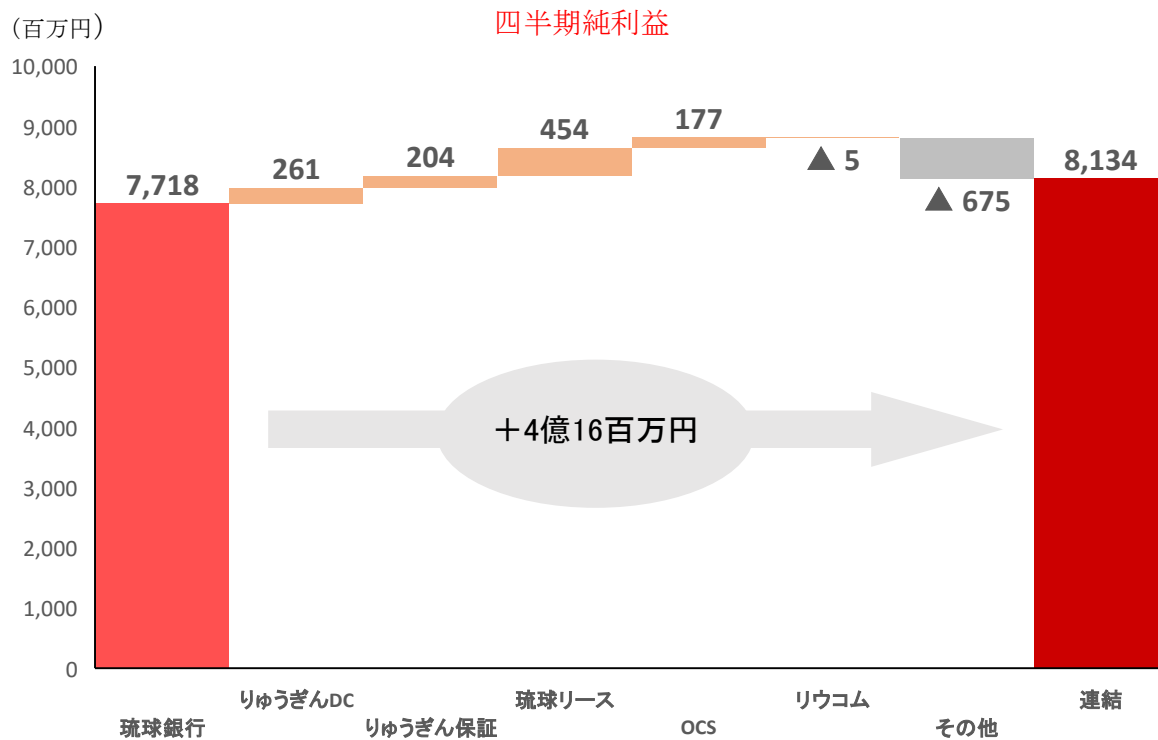
2026年3月期 第3四半期 決算概況説明資料**（2）参考 連結子会社の損益の状況****連結**

(単位：百万円)

2026年3月期 第3四半期 9ヵ月累計	連結	琉球銀行	りゅうぎん DC	りゅうぎん 保証	琉球リース	OCS	リウコム	その他※
経常収益	60,004	41,823	1,456	462	14,439	1,491	2,605	△2,274
経常利益	11,544	10,647	372	310	648	253	△5	△681
四半期純利益	8,134	7,718	261	204	454	177	△5	△675

※1「その他」には内部消去、(株)りゅうぎん総合研究所が含まれております。

また、「その他」にはのれんの償却費や連結上の処理が含まれているため各社の数値はセグメント表とは一致いたしません。



2026年3月期 第3四半期 決算概況説明資料

2. 損益の概況【単体】

(1) 概況

実質業務純益は人件費、物件費等の経費の増加があったものの、貸出金利回りの上昇による預貸金収支の増加および有価証券利息配当金の増加等による資金利益の増加等により前年同期を41億21百万円上回る89億53百万円となりました。経常利益は、株式等損益は減少したものの、実質業務純益の増加およびネット与信費用の減少もあり前年同期を41億85百万円上回る106億47百万円となりました。以上の結果、四半期純利益は前年同期を30億68百万円上回る77億18百万円となりました。

(単位：百万円)

単体	2025年3月期 第3四半期 9ヵ月累計	2026年3月期 第3四半期 9ヵ月累計	前年同期比	2026年3月期 通期予想 (12ヵ月累計)
0 経常収益	33,858	41,823	7,965	
1 業務粗利益	24,236	29,219	4,983	
2 資金利益	22,414	26,408	3,994	
3 役務取引等利益	3,214	3,845	631	
4 その他業務利益	△1,392	△1,034	358	
5 外国為替売買損益	△1,009	△735	274	
6 国債等債券損益（5勘定戻）	△383	△298	85	
7 うち売却益	232	633	401	
8 うち売却損	615	932	317	
9 うち償還損	-	-	-	
10 経費（除く臨時処理分）	19,403	20,266	863	
11 人件費	8,690	9,050	360	
12 物件費	9,337	9,698	361	
13 税金	1,376	1,517	141	
14 実質業務純益 ※1	4,832	8,953	4,121	10,200
15 コア業務純益 ※2	5,215	9,252	4,037	
16 除く投資信託解約損益	5,215	9,124	3,909	
17 一般貸倒引当金繰入額	△236	-	236	
18 業務純益	5,068	8,953	3,885	10,200
19 臨時損益	1,393	1,694	301	
20 うち株式等損益（3勘定戻）	1,648	898	△750	
21 売却益	1,691	1,050	△641	
22 売却損	43	151	108	
23 償却	-	-	-	
24 うち不良債権処理額	551	202	△349	
25 うち貸倒引当金戻入益	-	521	521	
26 うち一般貸倒引当金	-	286	286	
27 うち個別貸倒引当金	-	235	235	
28 うち償却債権取立益	148	124	△24	
29 うちその他の臨時損益	148	352	204	
30 経常利益	6,462	10,647	4,185	10,500
31 特別損益	△26	△24	2	
32 税引前四半期純利益	6,435	10,622	4,187	
33 法人税、住民税及び事業税	1,468	2,628	1,160	
34 法人税等調整額	316	275	△41	
35 法人税等合計	1,784	2,904	1,120	
36 四半期(当期)純利益	4,650	7,718	3,068	7,500
37 ネット与信費用（17+24-25-28）	166	△443	△609	
38 顧客向けサービス利益 ※3	3,192	4,953	1,761	

※1 「実質業務純益」は、一般貸倒引当金繰入額を除く業務純益。

※2 「コア業務純益」は、一般貸倒引当金繰入額及び国債等債券損益（5勘定戻）を除く業務純益。

※3 「顧客向けサービス利益」＝預貸金収支＋役務利益－経費（経費のうち人件費は臨時処理分控除前）

2026年3月期 第3四半期 決算概況説明資料**(2) 損益分解情報**

顧客向けサービス利益は、人件費、物件費等の営業経費が増加したものの、貸出金残高の増加および利回り上昇による預貸金収支の増加により、前年同期を17億61百万円上回りました。

市場部門損益は、株式等損益（3勘定戻）が減少したものの、有価証券利息配当金の増加および外貨調達コストの減少により、前年同期を16億7百万円上回りました。

与信コストは主に一般貸倒引当金繰入および個別貸倒引当金繰入が減少したことにより、前年同期を6億9百万円下回りました。

以上の結果、四半期純利益は前年同期を30億68百万円上回る77億18百万円となりました。

(単位：百万円)

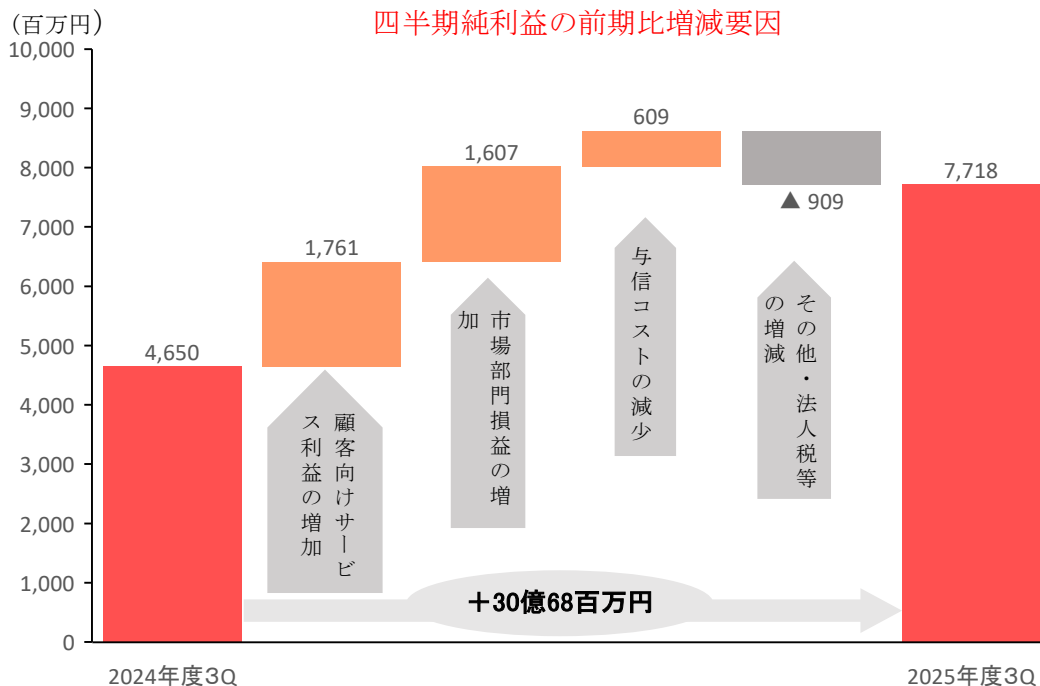
単体	2025年3月期 第3四半期 9ヵ月累計	2026年3月期 第3四半期 9ヵ月累計	前年同期比
1 顧客向けサービス利益 ※1	3,192	4,953	1,761
2 うち預貸金収支 ※2	16,883	19,273	2,390
3 うち役務利益 ※3	5,709	5,907	198
4 うち営業経費	△ 19,400	△ 20,227	△ 827
5 市場部門損益	3,385	4,992	1,607
6 うち有価証券利息配当金	2,945	4,559	1,614
7 うち預け金利息	174	455	281
8 うち外為売買損益	△ 1,009	△ 735	274
9 うち債券5勘定戻	△ 383	△ 298	85
10 うち株式3勘定戻	1,648	898	△ 750
11 うち債券貸借取引支払利息	△ 181	△ 1	180
12 与信コスト関連 ※4	△ 166	443	609
13 うち一般貸倒引当金繰入 ※4	236	286	50
14 その他・法人税等	△ 1,761	△ 2,670	△ 909
15 四半期純利益	4,650	7,718	3,068

※1 顧客向けサービス利益=預貸金収支+役務利益-経費（経費のうち人件費は臨時処理分控除前）

※2 預貸金収支（貸出金利息から支払ローン関係手数料相当額を控除。預金利息は資金スワップ収益を加味した実質ベース）

※3 役務利益（支払ローン関係手数料除く）

※4 与信コストについては、戻入は正の表示、繰入は負の表示



2026年3月期 第3四半期 決算概況説明資料

3. 預金・貸出金等の状況

(1) 預金（単体・末残および利回り）の推移

預金（末残）は、個人預金および地方公共団体等その他の残高が好調に推移し、前年同期末を492億円、前年度末を1,149億円上回る2兆9,108億円となりました。

預金利回りは、定期預金の金利引き上げにより、2025年度上期比0.015ポイント上昇の0.185%となりました。

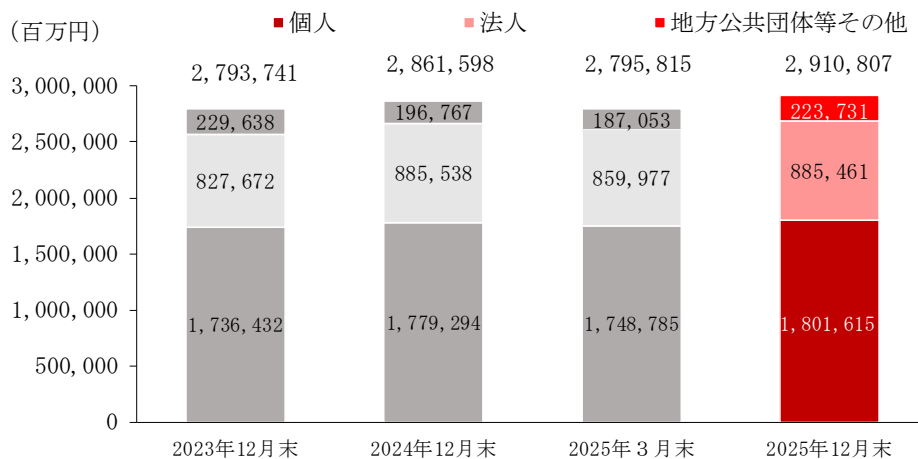
単体

(単位：百万円)

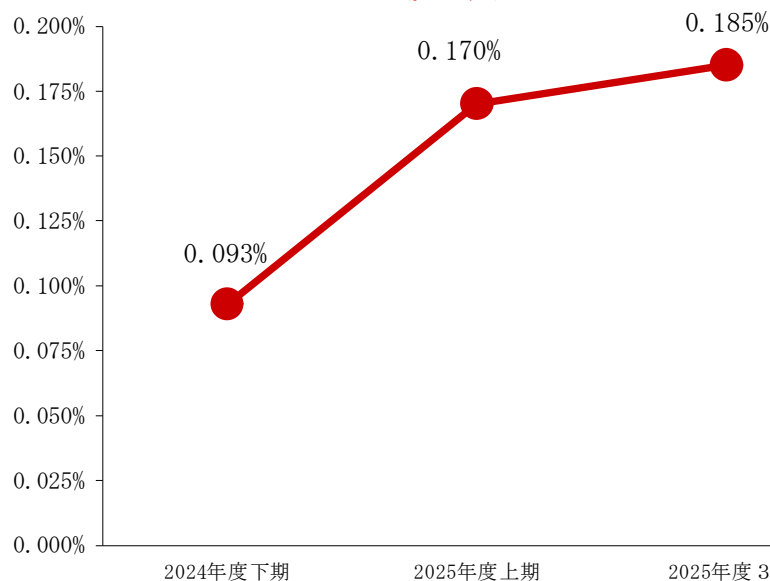
	2023年12月末	2024年12月末	2025年3月末	2025年12月末	2024年12月末比	2025年3月末比
預金（期末残高）※	2,793,741	2,861,598	2,795,815	2,910,807	49,209	114,992
個人	1,736,432	1,779,294	1,748,785	1,801,615	22,321	52,830
法人	827,672	885,538	859,977	885,461	△ 77	25,484
地方公共団体等その他	229,638	196,767	187,053	223,731	26,964	36,678
預金（平均残高）※	2,783,381	2,834,870	2,827,364	2,885,607	50,737	58,243

※譲渡性預金を含む

預金残高（末残） ※譲渡性預金を含む。



預金利回り



2026年3月期 第3四半期 決算概況説明資料

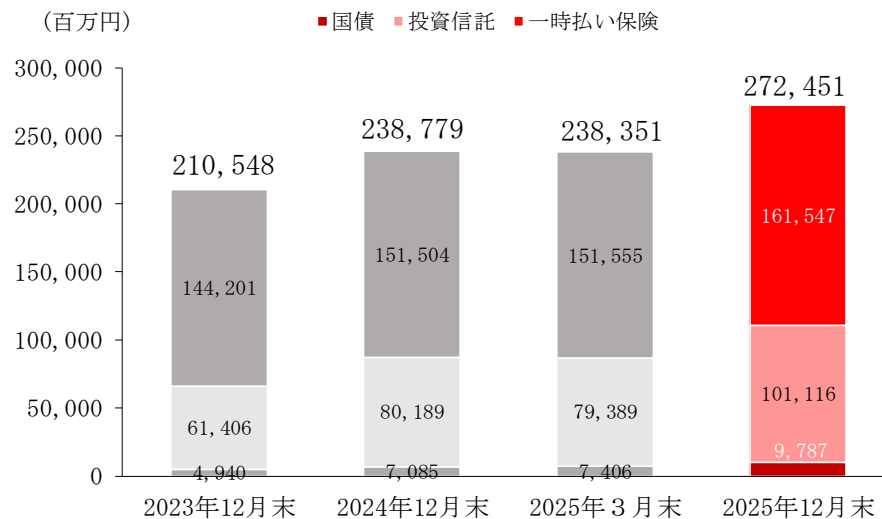
(2) 預かり資産（単体・末残）の推移

預かり資産は、金利上昇による国債残高増加、投資信託の残高増加および円建保険の販売が高水準で推移したことにより、前年同期末を336億円、前期末を341億円上回る2,724億円となりました。

単体

	2023年12月末	2024年12月末	2025年3月末	2025年12月末	(単位：百万円)	
預かり資産	210,548	238,779	238,351	272,451	2024年12月末比	2025年3月末比
国債	4,940	7,085	7,406	9,787	2,702	2,381
投資信託	61,406	80,189	79,389	101,116	20,927	21,727
一時払い保険	144,201	151,504	151,555	161,547	10,043	9,992

預かり資産残高（末残）



2026年3月期 第3四半期 決算概況説明資料

(3) 貸出金（単体・末残および利回り）の推移

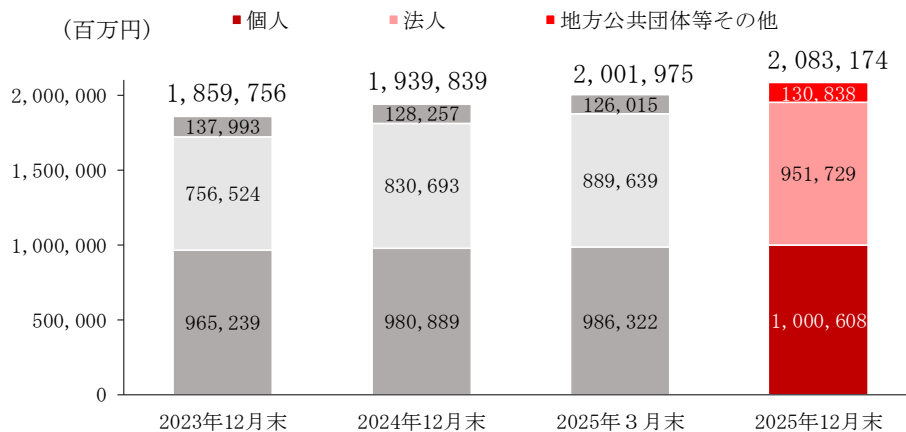
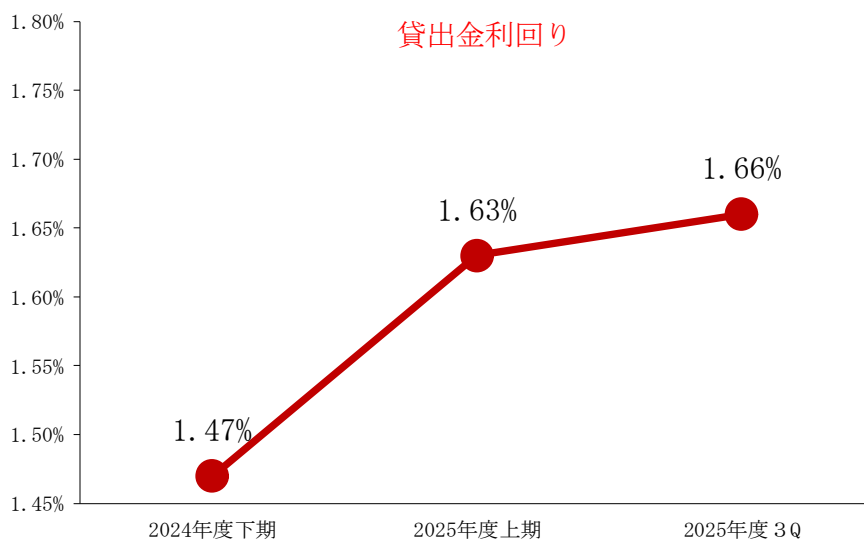
貸出金(末残)は、個人向け貸出が住宅ローンを中心に増加したことおよび、法人向け貸出が県外シンジケートローンの取組強化や県内事業資金の需要回復等により増加したことから、前年同期末を1,433億円、前年度末を811億円上回る2兆831億円となりました。

貸出金利回りは、短期プライムレートの引上げの影響により、2025年度上期比0.03ポイント上昇の1.66%となりました。

単体

(単位：百万円)

	2023年12月末	2024年12月末	2025年3月末	2025年12月末	2024年12月末比	2025年3月末比
貸出金（期末残高）	1,859,756	1,939,839	2,001,975	2,083,174	143,335	81,199
個人	965,239	980,889	986,322	1,000,608	19,719	14,286
法人	756,524	830,693	889,639	951,729	121,036	62,090
地方公共団体等その他	137,993	128,257	126,015	130,838	2,581	4,823
貸出金（平均残高）	1,830,026	1,904,176	1,919,083	2,022,278	118,102	103,195
期末個人残高のうち住宅ローン	568,070	585,222	588,987	604,251	19,029	15,264

貸出金残高（末残）**貸出金利回り**

2026年3月期 第3四半期 決算概況説明資料

(4) 時価のある有価証券の評価差額（連結）の推移

①満期保有目的の債券は、含み損が前年度末比12億円増加しました。
 ②その他有価証券は前年度末比で評価損が6億円減少しました。円貨債券のうち国債の金利上昇で評価損が増加した一方で、株式およびその他の投資信託の評価益が増加したことなどが主な要因です。

連結

①満期保有目的の債券

(単位：百万円)

	2024年12月末	2025年3月末	2025年12月末	2024年12月末比	2025年3月末比
帳簿価額	84,248	27,129	35,981	△ 48,267	8,852
含み損益	△ 606	△ 1,375	△ 2,634	△ 2,028	△ 1,259

②その他有価証券

(単位：百万円)

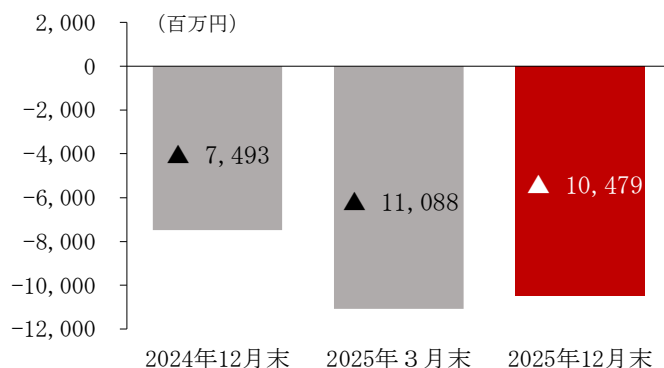
	2024年12月末	2025年3月末	2025年12月末	2024年12月末比	2025年3月末比
帳簿価額計	670,100	656,499	687,064	16,964	30,565
株式	1,324	1,437	2,510	1,186	1,073
円貨債券※	573,510	565,813	600,678	27,168	34,865
その他	95,265	89,248	83,875	△ 11,390	△ 5,373

	2024年12月末	2025年3月末	2025年12月末	2024年12月末比	2025年3月末比
評価差額計	△ 7,493	△ 11,088	△ 10,479	△ 2,986	609
株式	551	664	1,437	886	773
円貨債券※	△ 6,903	△ 10,595	△ 14,144	△ 7,241	△ 3,549
その他	△ 1,141	△ 1,157	2,226	3,367	3,383

「含み損益」は、基準日時点の帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。
 ※円貨債券は、国債、地方債、社債を計上しております。

連結

時価のある有価証券の評価差額



2026年3月期 第3四半期 決算概況説明資料

(5) 金融再生法開示債権の推移

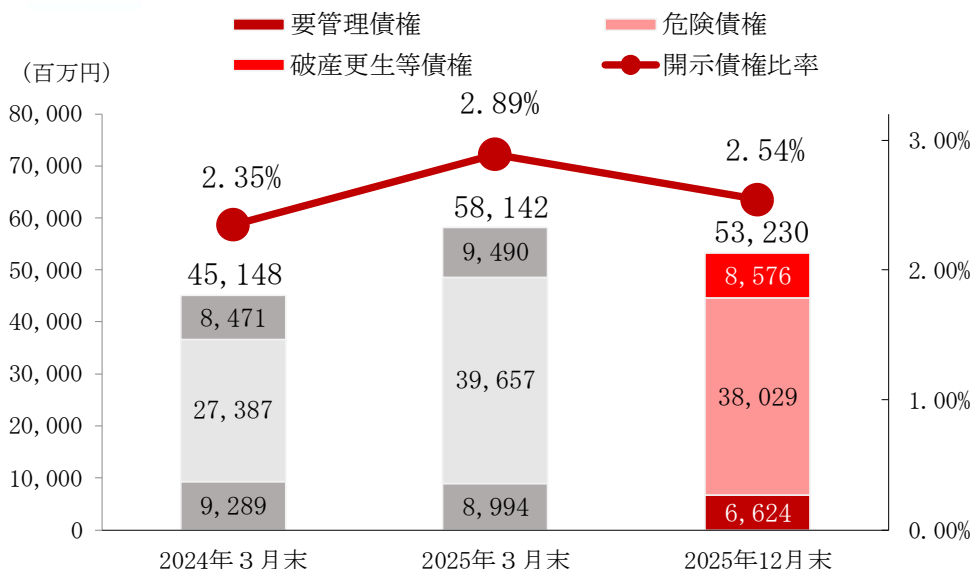
金融再生法開示債権(単体)は、一部の事業者において業況の改善があり、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権および要管理債権が減少した結果、開示債権比率は、前年度末比0.35ポイント減少の2.54%となりました。当行は、事業者の事業継続可能性を見極めながら今後も地域金融機関に求められる役割をはたすべく、引き続きお客様支援を実施してまいります。

単体

	(単位：百万円)			(単位：百万円)
	2024年3月末	2025年3月末	2025年12月末	2025年3月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	8,471	9,490	8,576	△ 914
危険債権	27,387	39,657	38,029	△ 1,628
要管理債権	9,289	8,994	6,624	△ 2,370
合計	45,148	58,142	53,230	△ 4,912
	(単位：%)			(単位：ポイント)
開示債権比率	2.35	2.89	2.54	△ 0.35

連結

	(単位：百万円)			(単位：百万円)
	2024年3月末	2025年3月末	2025年12月末	2025年3月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	10,831	11,870	11,381	△ 489
危険債権	27,414	39,678	38,050	△ 1,628
要管理債権	9,742	9,428	7,030	△ 2,398
合計	47,988	60,977	56,462	△ 4,515
	(単位：%)			(単位：ポイント)
開示債権比率	2.50	3.03	2.71	△ 0.32

単体

2026年3月期 第3四半期 決算概況説明資料

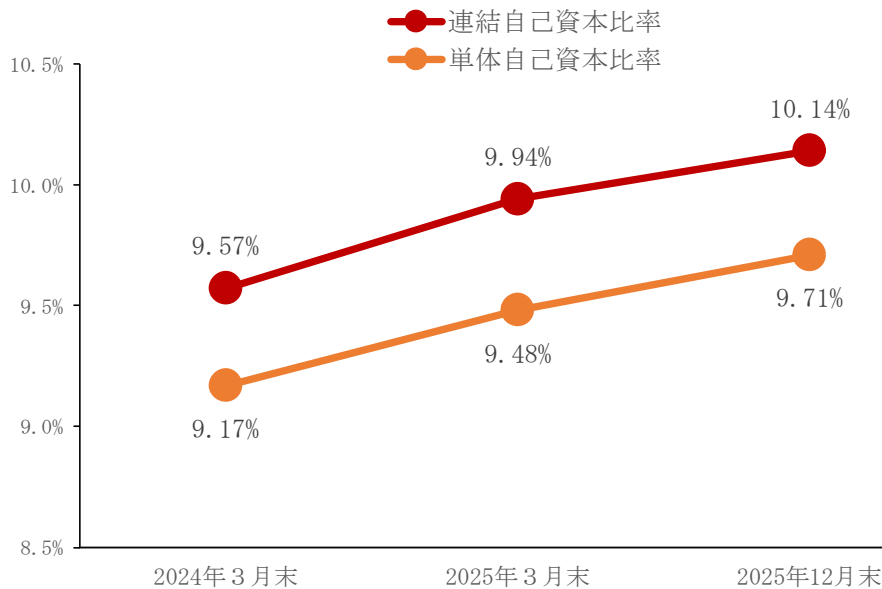
（6）自己資本比率（連結・単体）の推移

利益の積み上げ等により、連結自己資本比率は2025年3月末比0.20ポイント上昇の10.14%となり、単体自己資本比率は2025年3月末比0.23ポイント上昇の9.71%となりました。

2026年3月末の自己資本比率は、連結は10.1%台、単体は9.6%台をそれぞれ予想しています。

単体・連結

自己資本比率	(単位：%)			(単位：ポイント)
	2024年3月末	2025年3月末	2025年12月末	2025年3月末比
単体	9.17	9.48	9.71	0.23
連結	9.57	9.94	10.14	0.20



2026年3月期 第3四半期 決算概況説明資料

(7) キャッシュレス事業利益の推移

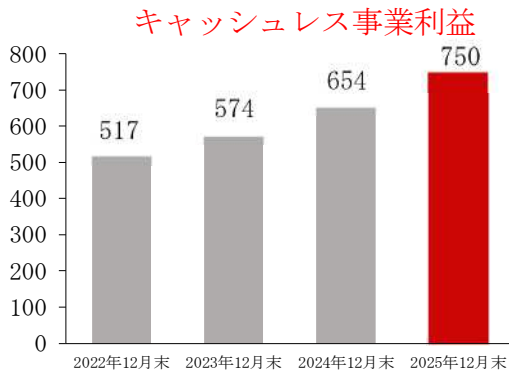
単体

(単位：百万円)

	2024年12月末	2025年12月末	2024年12月末比
キャッシュレス事業利益	654	750	96
キャッシュレス事業収益	2,074	2,821	747
キャッシュレス事業費用(△)	1,420	2,071	651

※銀行本体で行っているりゅうぎんVisaデビットカード発行業務およびカード加盟店業務における役務利益。

(百万円)



(8) キャッシュレス事業(りゅうぎんVisaデビットカード発行業務・カード加盟店業務) 契約数および加盟店契約数の推移

単体

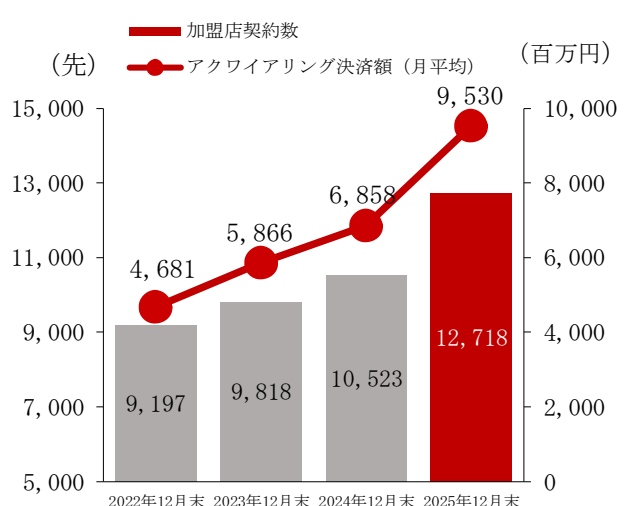
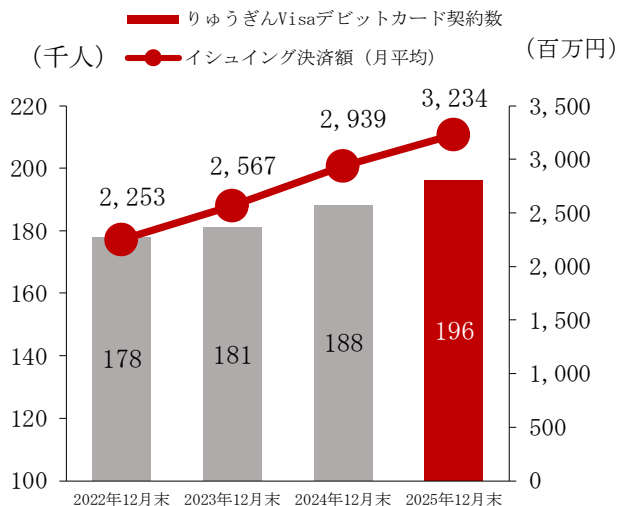
(単位 ※1：千件、※2：先、決済額：百万円)

	2024年12月末	2025年12月末	2024年12月末比
りゅうぎんVisaデビットカード契約数	188	196	8
決済額(イシューイング)※1	2,939	3,234	295
加盟店契約数	10,523	12,718	2,195
決済額(アクワイアリング)※2	6,858	9,530	2,672

※決済額：1ヵ月間の合計決済額の平均(12月期は4月～12月の9ヵ月平均)

りゅうぎんVisaデビットカード契約数および決済額

カード加盟店契約数および決済額



2026年3月期 第3四半期 決算概況説明資料

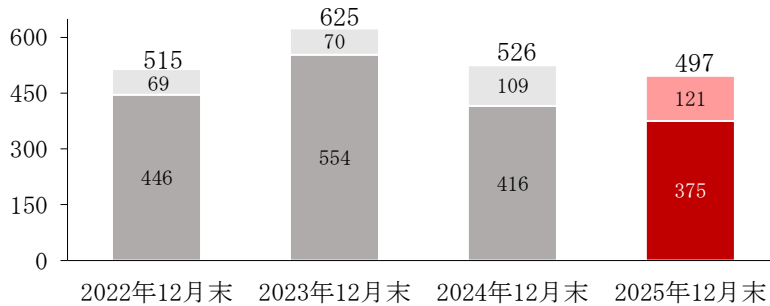
(9) コンサルティング業務利益（単体）の推移

単体

(単位：百万円)

	2024年12月末	2025年12月末	2024年12月末比
コンサルティング業務利益	526	497	△29
法人向けサービス	416	375	△41
個人向け資産承継サポート	109	121	12

(百万円) ■ 個人向け資産承継サポート ■ 法人向けサービス



(10) リース業務利益（連結）の推移

連結

(単位：百万円)

	2024年12月末	2025年12月末	2024年12月末比
リース業務利益	1,201	1,389	188

(百万円)

